

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	決算特別委員会 産業建設分科会		会議場所 全員協議会室 担当職員 佐藤
日 時	令和4年9月14日（水曜日）	開 議	午後 1時 30 分
		閉 議	午後 2時 46 分
出席委員	◎赤坂、○小川、田中、奥野、藤本、木曾、菱田		
出席理事者			
出席事務局	井上事務局長、佐藤主任		
傍聴者	市民1名	報道関係者0名	議員0名

## 会 議 の 概 要

13:30

### 1 開議

### 2 事務事業評価選定事業の論点整理

[事務局説明]

事務事業評価では、限られた時間の中で説明・質疑、その後の委員間での議論を通じて評価結果をまとめるということから、時間上の制約もあるため、議論の焦点とすべきことを事前に整理しておく必要がある。当日、論点に沿った質疑、適切な評価ができるよう、これより論点整理を行っていただきたい。

#### (1) 道路維持経費

<赤坂委員長>

先ほどの議案審査でもあったが、自治会等から要望があっても、半分ほどしか対応できないと言っていた。道路の修繕についても、一時しのぎなので、同じことを繰り返している。事務事業評価でしっかり拡充するようにしていかなければならないし、ふるさと納税があるうちに、直せるところは思い切って直していかなければならない。論点について意見はあるか。

<菱田委員>

うまく財源を確保して、安全・安心なまちづくりをしていくことが大事であると思う。

<木曾委員>

予算が少ないので、しっかり確保する必要がある。

<赤坂委員長>

なぜ、道路を短距離ずつ修繕するのか分からない。一気にエリアごとに分けて修繕していただきたい。また、白線を引く事業者の仕事が悪すぎる。白線が薄くて、すぐに剥がれてしまう。直すならお金をしっかりかけて直さないと、何度も直さなければならないことになる。

<藤本委員>

南つつじヶ丘では、電話すれば3日以内に直しに来てくれる。まだまだ整備が必要

なところはありますが、予算が少なく、少しずつしか修繕できないのが現状である。ただ、多額の予算をつければ、一気に修繕できるのかと言えば、その辺りの工事のキャパがどのようになっているか分からないが、この予算で手がいっぱいなのか、予算をつければ、幾らでもできる状況なのか確認したい。

<赤坂委員長>

市の方向性を変えて、例えば2年間は道路にお金をかけるというように決めて、予算を投入しなければ、これからますます人口が減って、予算が削られていく。

<木曾委員>

明石市がどのように予算を捻出しているかと言えば、事業を整理しているからである。亀岡市はそれをせずに、ふるさと納税に頼っているのが問題である。

<小川副委員長>

財源確保が大事であるので、論点に入れていただきたい。また、道路の維持修繕が計画的にできているのか確認したい。

<赤坂委員長>

計画を立てても予算がないし、無駄な事業を整理することも大事である。この何年間でしっかり財源を入れて、道路修繕をしていかなければできなくなる。

<木曾委員>

市道の延長が何メートルあり、現在何パーセントぐらいの修繕ができているのか確認したい。

<赤坂委員長>

道路状況を5段階ぐらいに分けて、ハザードマップ的なものを作り計画的に修繕を実施していくべきである。

<小川副委員長>

担当職員が少ないと聞いたので、私は以前、担当課に、通勤してくる職員に道路状況を見てもらい、報告してもらうようにしてはどうかと提案したことがある。路線管理をデータベース化して、「ここは交通量が多くて、修繕しなければ危険である」とか落とし込んでいったり、市民からスマホで情報を送ってもらえば、担当職員の負担が減ると思う。

<藤本委員>

事業の整理を行い、しっかりとした道路整備計画に基づき維持管理に必要な予算を確保することが大事である。

<赤坂委員長>

みんなで協働して、道路をチェックしながら、しっかり修繕していく新しいシステムを考えていくべきである。そのための拡充である。

<小川副委員長>

修繕料と道路維持作業委託料があるが、側溝や路肩も一体的に整備すれば、経費が抑えられると考える。

<赤坂委員長>

他課との連携が大事である。

<奥野委員>

年次の管理計画を作って、計画的に予算を確保していただきたい。

<赤坂委員長>

新たな道路管理ハザードマップ的なものと考えて、優先順位を決めるための道路管理マニュアルの作成が必要である。また、市道と関連する各部署との連携も必要である。

<菱田委員>

予算を安定的に確保するべきとしてはどうか。

<木曾委員>

計画性を持ってやらなければならないということも必要である。

<藤本委員>

どのくらい計画性を持ち、工事請負費を拡充していくかが大事である。

<赤坂委員長>

論点として、「計画性を持って、安定的に予算を確保すること」「道路管理におけるハザードマップ的なものをつくること」「市民協働で情報を集めていくこと」「道路管理を可視化すること」でよいか。

(全員了)

<赤坂委員長>

文言等の整理は正副委員長に一任願う。

## (2) 排水路新設改良事業費

<赤坂委員長>

論点について意見は。

<菱田委員>

市街地で浸水被害が発生しそうなところがあるので、それらを把握して、排水路の改良を実行させることが必要になってくるし、市街地の雨水排水計画はどのようになっているのか。また、既存の雨水排水計画で残っているところはどこなのか確認したい。さらには、雨水排水計画を見直す必要があると思う。

<田中委員>

雨が降れば冠水するところが幾つもあるが、地図に落とし込んで可視化し、計画的に修繕していくべきである。

<木曾委員>

可視化することによって、予算をしっかりと確保していくことが大事である。

<赤坂委員長>

論点として、「市街地の雨水排水計画をどのように考えているのか」「既存の雨水排水計画を実行できているのか」「新たな雨水排水計画を考えなければならないのではないのか」でよいか。

(全員了)

<赤坂委員長>

文言等の整理は正副委員長に一任願う。

## (3) 森林活用推進事業経費（森林意向調査実施計画策定業務委託料・森林経営管理権集積計画業務委託料）

<赤坂委員長>

論点について意見は。

<田中委員>

意向調査の結果と亀岡市として、森林をどのようにしていきたいのか聞きたい。

<奥野委員>

年次計画はどのようになっているのか聞きたい。

<赤坂委員長>

論点として、「意向調査の結果はどうなったのか」「事業の年次計画を立てているのか」「亀岡市としての森林整備の根本的な考え方は」でよいか。

(全員了)

<赤坂委員長>

文言等の整理は正副委員長に一任願う。

### 3 その他

#### (1) 審査日程

[事務局 決算審査日程説明] (了)

<赤坂委員長>

その他、事務局から連絡事項はあるか。

<事務局主任>

地方創生関連交付金等の資料を配付した。明日からの決算審査に持参願う。また、決算カードも配付している。暫定値ではあるが、決算審査の参考にされたい。なお、明日10時からの決算全体会には、提出予定議案の概要を持参願う。

～散会 14:46